

評価 = 次になる予定です。
S1の授業の成績 + 演習のレポート

演習の進め方 = S1は n 回目の演習
で、共通資料 $2n-1, 2n$ 章の問題を
解きます。最初に簡単な解説をします。

<http://www.kurims.kyoto-u.ac.jp/~tshun/2018.html>
が演習のページです。配布資料を
掲載するほか、要望等も送れます。

出席について = 出席は一応とりませんが、ほぼ成績には関係しません。
「不可」か「50可」の考慮に使う程度。

問題はととても簡単ですが、分からないことはなんでも聞いてください。TAは4人います。なお、呼び方は「～先生」でなく「～さん」でもOKです。

S1で扱う内容は、びっくりするくらい簡単なことです。資料を読んで分かる人は、他のことをしたほうがよいかも。

大切なことは、理解を深めることです。毎回の演習の出来を成績に反映させることはしません。友達と相談するetcなども自由に行ってください。

履修が変則的な人は教えてください。

演習問題については，ほかの教科書の著者と同様，すべて解くことを強く推奨する．この文面は，重要な示唆を含んでいる．数論や組合せ論において，簡潔に述べられた問題が，非常に込み入った解答を必要とすることは珍しくない．しかし基礎レベルの〇〇において，問題文が理解できることは，解答を知っていることとほとんど等価なのだ．たいていの場合，演習問題の解き方は一通りしかない．ゆえに，もし演習問題が解けないのだとしたら，有効な処方箋は問題に現れた術語をよく見直し，それらを完全に理解しているかどうか自問することだ．焦らないこと．問題に取りかかるのではなく，理解することが，〇〇の初歩を学ぶさいの主な課題である．